

## クラス：C グループ：2 選んだケース：ケース①

## 1. レディネスとニーズ分析

## 1) ケース

在留資格	技能実習 1 号(団体監理型)
在留資格移行見通し	技能実習 1 号 入国後講習(現在)
日本滞在歴	0 年
職種	複数職種混合(建設、機械・金属、食品製造関係、農業)
国籍、人数内訳、学歴等	ベトナム(10 名) インドネシア(6 名) フィリピン(4 名)
日本語学習歴	入国前に現地教育機関にて学習(2 か月 320 時間)
日本語能力等	国で 320 時間の入国前講習を受講したものの、日本語レベル的には初学者。 ひらがなはなんとか読み書きできるが、カタカナは簡単なものであれば読める程度。 その他、簡単な挨拶や自己紹介はできるが、それ以外はできない。
就労状況	入国後講習後に実習開始予定
学習期間 学習時間数	1 か月 160 時間の入国後講習のうち、日本語教育は 136 時間で実施 ※1 日 8 時間まで、週 5 日まで
ニーズ・所属機関の要望等	技能実習生が技能実習を円滑に行うため、日本の社会・労働環境に 適応するための基礎的な日本語能力を習得させたい。
その他	クライアントは監理団体。

## 2) 学習者のニーズ・研修依頼者のニーズ

## &lt;学習者のニーズ&gt;

- ①自律型の学習ができる
- ②場面や機能からアプローチができるようになる

## &lt;研修依頼者のニーズ&gt;

技能実習生が技能実習を円滑に行うため、日本の社会・労働環境に適応するための基礎的な日本語能力を習得させたい。

## 2. シラバスデザイン

1) 授業時間数	1 日 6.5 時間、週 5 日 (21 日)
2) コースの方針	①学習者と教師の学習目標の明確化 ②実践的な学習内容 ③文化理解の促進 ④個別指導とフィードバック ⑤自律学習支援(自立から自律へ)
3) 到達目標	①日本の社会・労働環境に適応するための基礎的なコミュニケーション能力を身につける ②生活情報を理解し、活用できる

	③自律学習ができるようになる										
4) 学習内容	①日常生活に必要なやりとり ②職場で使える日本語 ③文化理解 ④自律学習の方法										
5) 評価法	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>評価法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>口頭能力</td> <td>会話テスト</td> </tr> <tr> <td>言語知識(かな・漢字・語彙・文法)</td> <td>筆記テスト</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーション能力</td> <td>日常のパフォーマンス観察</td> </tr> <tr> <td>自律学習</td> <td>Can-do チェック、ポートフォリオ、アンケート</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価法	口頭能力	会話テスト	言語知識(かな・漢字・語彙・文法)	筆記テスト	コミュニケーション能力	日常のパフォーマンス観察	自律学習	Can-do チェック、ポートフォリオ、アンケート
評価項目	評価法										
口頭能力	会話テスト										
言語知識(かな・漢字・語彙・文法)	筆記テスト										
コミュニケーション能力	日常のパフォーマンス観察										
自律学習	Can-do チェック、ポートフォリオ、アンケート										

### 3. カリキュラムデザイン (学習計画および学習目標)

回	授業の内容	学習目標	教材
1	オリエンテーション	コースの説明以外では人に会った時、別れる時などに挨拶ができる。	『いろどり』入門 (1 課)
2	わからないことばを聞き返す ひらがな・カタカナの復習	相手の言っていることがよくわからないとき、聞き返すことができる。	『いろどり』入門 (2 課)
3	自己紹介 家族の紹介	名前や出身などを言って、簡単な自己紹介をすることができる。 家族の紹介を聞いて、家族のメンバーを理解することができる。	『いろどり』入門 (3 課、4 課)
4	防災	110 番、119 番がどこにかかるかななどを教える。必要情報を伝えられるようになる。	自作 PPT 『いろどり』初級 2 (16 課)の一部も活用
5	食べ物	食べ物の好き嫌いを聞かれたとき、答えることができる。	『いろどり』入門 (5 課)
6	家と職場の部屋や物の名前	家や職場にある家具など名称を覚える。また生活面でのゴミ出しのルールについて理解をする。および可能であれば居住地区のゴミ出しルールなどをサイトから探してみる。	『いろどり』入門 (7 課) 居住地域のゴミ出しルールホームページなど。
7	だれがどこにいるか聞く	人の居場所を質問したり、質問に答えたりすることができる。	『いろどり』入門 (8 課)
8	交流会 1	職場の人とのコミュニケーションを実践する。	かるたなどのゲーム

9	時間、スケジュール	起きる時間や寝る時間を質問したり、時間に関する質問に答えたりすることができる。 職場で、1日のスケジュールについての簡単な説明を聞いて、理解することができる。 「月」「日付」の言い方を理解して、聞ける、言えるようになる。	『いろどり』入門（9課）
10	指示、依頼のことば	職場で、短い簡単な指示を聞いて、何をすればいいか理解することができる。 指示だけでなく、『命令形』があることも理解する。	『いろどり』入門（10課）
11	交通機関を使う	電車やバスなどが自分の行きたいところに行くかどうか質問できるようになる。 交通機関の利用について理解する。	『いろどり』入門（13課）
12	買い物	商品の値段を聞いて、理解することができる。	『いろどり』入門（16課）
13	休日のこと、したいこと	休みの日にしたこと、したいことを質問されたとき、簡単に答えることができる。	『いろどり』入門（17課、18課）
14	どんな仕事をしているか話す	日本でしている仕事について、簡単に話すことができる。	『いろどり』初級1（1課）
15	行きたい場所を聞く	ほかの人に道をたずねて、その答えを理解することができる。	『いろどり』初級1（6課）
16	遅刻の連絡など	会社に遅刻の連絡などができるようになる。	『いろどり』初級1（7課）
17	仕事の進捗などの報告	職場で困ったことがあったとき、上司などに状況を伝えることができる。	『いろどり』初級1（13課）
18	休みを取る	職場で、休暇を取りたいときなどに、事前に許可を求めることができる。	『いろどり』初級1（14課）
18	体調について言う	病院で、もしくは職場で、自分の症状を簡単に伝えることができる。	『いろどり』初級1（15課、16課） 厚労省の問診票の多言語版を活用する 指差し会話表の紹介をする
20	交流会2	これまで学んだことを使って企業	『やさしい日本語』

		の人と簡単な協働作業をしたり、ゲームなどをして日本語達成度はかり、交流を深める。	
21	テストとふりかえり	日本語で簡単に今までの感想を伝えることができる。 また、研修後にも自立学習ができるようになるためのツールが使えるようになる。	自作の目標シートなど。 JLPT の学習アプリなど。

以上